

平成30年度

あさぎり町民と議会の

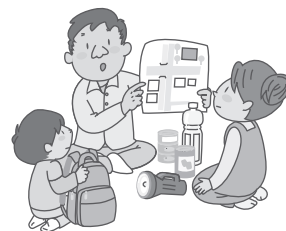
交流会議報告

1月24日(木) 商工コミュニティーセンターポッポ館にて開催

総務文教常任委員会 (総務課・会計課・企画財政課・税務課・教育委員会)

テーマ

- ・ みんなで考える
みんなの防災



建設経済常任委員会 (農林振興課・建設課・商工観光課・上下水道課・農業委員会)

テーマ

- ・ 幸福のまちづくり
おかどめ幸福駅を活かした取り組み
- ・ 後継者対策：町独自の支援策について

厚生常任委員会 (町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課)

テーマ

- ・ ふれあい福祉センターの
今後について
- ・ 子育て支援と高齢者対策について



「あさぎり町民と議会の交流会議」
においては、寒い中、夜間にもかかわらず多くの町民の皆様にご出席いただきありがとうございました。
皆様の声を議会活動に活かすべく、委員会等でたいま検証を行っています。即答できない事もありますが、とりあえず中間報告という形で特集号を発刊する事となりました。引き続き協議を重ねてまいります。皆様のご意見をお待ちしております。

小見田 和行

「交流会議（議会報告会）」
での意見を受けて



あさぎり町

議会報告会

特集号

H31.4.4 発行

◎総務文教常任委員会への質疑・ご意見（参加者24名）
分科会テーマ・・・みんなで考える みんなの防災

●ソフト面：「地域の防災力を高めるためには」

問 自主防災組織の人員配置や組織作りについてももっとわかりやすくしてほしいです。

答 全行政区に組織を設立し活動を行っていただいておりますがリーダーが変わった時など、町にわかりやすい説明会を行ってもらうよう要望していきます。



飯田市の議場を兼ねた防災センター

問 家庭で高齢者の介護をしている人達には避難訓練など実現できない厳しい現実があります。

答 条例を中心に、防災の日など織や各家庭において『共助』の重要性をさらに周知して頂けるよう務めます。

問 機能別団員は昼間の活動のみとなつていますが、夜間の手伝いも協力してもらえないでしょうか。

答 団員数は、現在35名です。夜間の協力については必要性を感じているところですので、基本団員と機能別団員との協議を進めていきます。

問 防災マップの存在を知らない町民が多数いると思います。配布してあるマップが古い情報なので、地図の更新やもっと見やすいレイアウトに作り替える必要があるのではないのでしょうか？

答 現在、皆さんに配布してある防災マップは平成27年度に作



地下にある飯田市防災センターの備蓄倉庫

成したものです。現在お持ちでない方にはいつでも配布できますので、お問い合わせ下さい。2020年には更新する予定です。さらに情報が豊富に、そして見やすく使いやすくなります。

問 婦人会では、避難所での炊き出し協力や小学生に防災ずきんを作成配布しています。しかし、自宅から避難所までの道のりが遠ざると多くの荷物を抱えて移動するのが大変で、根本的に防災訓練のあり方を考え直すべきでないでしょうか？

答 婦人会会員さん方の取り組みには大変感謝致します。町では各校区を指定避難所としていますが、防災条例にのっとり、一次避難場所（炊き出し可能な衣料品などのおける場所）や防災訓練については各地区で話し合わせ、安全な場所を決めて取り組んで頂けるようお願い致します。

●ハード面：「あさざり町防災拠点施設整備基本構想策定について」

問 防災センターを建てる場合、専門家を交えた意見を参考に場所などの選定をしてほしいと思います。

答 専門的な選定をしており、特別委員会の調査は1月末で終了しました。

問 避難所を確保できない地域や、今ある避難所の整備も並行して実施すべきではないですか？
答 年次計画的に備蓄や資材の計画を進めています。指定避難所だけでなく支援物資は行き渡りますので安心して下さい。

●「全体会による意見交換会での
質疑・意見」

問 消防団員の確保について、今後10年間の見通しを聞かせて下さい。

答 実働団員数は100名弱減っていますが、団員の少ない、またはいない所での発災時も近隣の団員で対応できるよう、合同訓練等

の準備はできています。今後は各部の統合を進めて対応していきます。

問 消防団での活動について、深夜の巡回が負担になっている所があるのではないですか？

答 各地区の消防団で検討、改革をお願いしています。

◎建設経済常任委員会への質疑・ご意見（参加者32名）
分科会テーマ：

- ・幸福のまちづくり おかどめ幸福駅を活かした取り組み
- ・後継者対策：町独自の支援策について

●幸福の町づくり：「おかどめ幸福駅を活かした取り組み」

問 おかどめ幸福駅の指定管理者が新しくなっていますが、行政と指定管理者の話し合いは密にできているのですか。特にオープンなときは多かったのですが、現状は少ない状況ですが。

答 執行部と指定管理者との連携を再度確認します。観光の拠点、憩いの場に向けての情報発信に努めてまいります。

問 岡留公園の遊具は、旧免田町時代に建てられた遊具がまだ残っています。遊具が少ないのではないのでしょうか。

答 その後、現地調査を行いました。遊具の老朽化の改善・増設を含め、執行部からはH31年より年次的に進めていくとの答えです。

問 町は、健康と幸福の町づくりというテーマを取り組んでいます。たばこは健康に害するというのが一般的な論ですが、葉たばこを逆の発想で、あさぎり町はたばこ



おかどめ公園

にこんなに優しいという考え方で進めてほしいのです。（たばこ農家のため）

答 たばこ耕作組合を始め、関係機関と協議してまいります。

●後継者対策：「町独自の支援策について」

問 商工業者や業種が違う人たちへ、独自の支援策を考えてほしいです。

答 取り組むべきところは、調査して取り組んでまいります。

問 旧町村で20万円程の祝い金が出ていましたが、他町村で取り組んでおられる就農給付金(独自)は、あさぎり町は取り組まないのですか。

答 近隣の町村では、新規就農者に対して手厚い支援があります。ですので、調査して町にも提言します。

問 外から農業を目指す方に、機械、空牛舎等を借りて、初期投資の少ない農業を始める仕組みづくりはできないでしょうか。

答 受け皿づくりを、今後農業支援センターと協議して、行える仕組みを検討します。



交流会の様子

◎厚生常任委員会への質疑・ご意見（参加者11名）
分科会テーマ：

- ・ふれあい福祉センターの今後について
- ・子育て支援と高齢者対策について

●「ふれあい福祉センターについて」

問 上地区にあるデイサービス事業はどうなりますか。

答 当面は今の場所を継続。段階的に岡原に移行していきます。

問 岡原の生活支援ハウスが9部屋から3部屋に変更になることですが、今後独居高齢者が増えるのに対応できるのでしょうか。

答 部屋数については委員会でも支援の必要な方には老人施設の利用をすすめる方法もありますが、生活支援ハウスの本来の意味もふまえないとしっかり検討してまいります。

問 温華乃遥温泉が閉館となり集いの場所がなくなりました。老人クラブの会議をするにしても他の施設を使うと使用料がかかってしまいます。手軽に使える料金のかからない部屋等を考えて欲しいです。

答 改修工事が始まるまでは和室と玄関を入ったスペース（エントランス）を無料で利用できる事としています。施設全体の利用料金については改修後に検討していく予定です。

●「高齢者対策について」

問 免許証返納後移動の足がなくなりまして。温華乃遥温泉が閉館となりましてが、ヘルシーランドに行くのに乗り合いタクシーの路線・回数など検討して欲しいです。



乗合タクシー（ヘルシーランド）

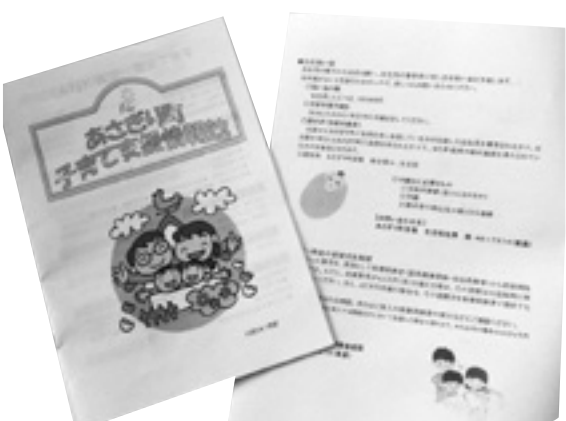
答 デマンド交通（ドアツードア）も検討しましたが、公共交通

機関との兼ね合いで現在調整中です。

●「子育て支援について」

問 あさぎり町は出生祝い金を10万円出しています。3年以上あさぎり町に住所を有するとありますが、3年以上は見込みでもいいのですか。もううだけもううって他の町村へ移る人もいるのではないのでしょうか。

答 祝い金を受けるには、出生時にあさぎり町に住所がある事、税金の未納・滞納がないことがあげられます。平成28年3月31日までは祝い金は5万円でしたが、現在



あさぎり町子育て支援情報誌

は10万円。平成29年度は97件の申請です。規定では3年以上引き続きあさぎり町に住んでいたく事となっていますが、転出が決まっている方からの申請はありません。

おどがち

いつもあさぎり町議会だよりのご愛読ありがとうございます。

広報委員会では、交流会議の開催後できるだけ早く内容をお伝えすべく、町内全戸に会議報告を作成、配布させて頂きました。多くの活発な意見交換がありました。紙面の都合上掲載できなかった分につきましては今後、ホームページ、議会だより等に掲載予定です。

今後とも、忌憚（きたん）のないご意見を感想をお聞かせ願えれば幸いです。

議会広報調査特別委員会

委員長 難波文美

編集・発行責任者

議長 徳永正道

広報調査特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 難波文美 |
| 副委員長 | 橋本誠 |
| 委員 | 溝口峰 |
| | 久保田久男 |
| | 加賀山瑞津子 |
| | 市岡貴純 |

